

3月定例会

3月定例会を7日から26日までの会期で開きました。

市長から20年度一般会計予算など30議案が、また議員より議会広報編集特別委員会の設置など1議案が提出され、原案通り可決しました。また教育委員の任命に同意しました。  
一般質問には14人が登壇しました。

20年度一般会計予算

127億1,000万円

が計上されました。

主な事業は、同報無線整備工事や校舎の耐震補強工事などです。

質疑(浅井元議員)

(1) 港の発展は流通面を考えると、道路網の整備を至急行うことが必要で、関係機関へ話をしてもらいたいだろうか。

(2) 県フレンドシップ継承事業補助金の事業内容につ

いて尋ねる。

(3) 地域づくり補助金について、先進地の事例を知りたい。

(4) 殉公之塔の解体撤去後の計画を知りたい。

(5) 児童館費の駐車場用地購入は今後何か計画があつて土地を購入するのか。

(6) 命を大切にすることを育む教育推進事業委託料の事業内容を知りたい。

答弁(市長)

(1) 関係機関にも働き掛けられているが、今後も検討していきたい。

(4) 新たな碑を設置し、遺

族会、地元の皆と利用形態を考えていきたい。

答弁(企画情報課長)

(2) 映像文化を通じた女性の社会進出の支援や国際交流を図ることを目的に、県国際女性映画祭の開催に向け、県・市女性の会の協力を得て準備を進めている。

(3) 例えば地域で花いっぱい運動だとか、皆の新たな取り組みに対し補助金を使ってもらいたい。

答弁(副市長)

(5) さくら児童館は非常に利用者が多いが駐車場もなく、土地を購入し児童館の機能を高めていきたい。

答弁(教育課長)

(6) 命の大切さを体得させる活動をし、子どもたちが命は受け継がれるものであることに気付き、自分を大切にすることを育て、自らの命を輝かせることができる内容の事業を実施する。

質疑(伊藤議員)

(1) ケーブルテレビの加入費と月額使用料に補助をすべきではないか。

(2) 市が指定管理者制度を導入しなければならぬ実態なのか。

答弁(企画情報課長)

(1) 市限定のプランを用意し、県下でもとても得なプランになっている。

答弁(市長)

(2) 行政改革を進める上で、指定管理者制度を常に意識の中に置かないといけないと思っている。

質疑(安井議員)

(1) 予算書を他の市町村を参考にして、分かりやすいものに改善してもらいたい。

(2) 遠隔地や車がない障害者に、福祉タクシー券の上乗せをすることが必要ではないか。

(3) 成年後見制度の利用支援費について知りたい。

(4) 正規雇用は減り、低賃金や不安定雇用の拡大、過労死やサービス残業などが横行している。

答弁(市長)

市内の若者たちの労働実態調査を行うべきではないか。

(5) 子育て日本一といわれ

るこの市のさらなる妊婦健診の拡大、改善を求めたいだろうか。

(6) 昨年がん検診の受け付けが大変混んだ。どのように見直したか。

(7) 十四山東部小学校北校舎の耐震診断、補強工事はどうなっているのか。

答弁(総務課長)

(1) 各市の予算概要説明資料を調査研究し、改善していく。

答弁(福祉課長)

(2) 今後十分に考えていかなければならない課題である。

(3) 身寄りのない知的障害者、精神障害者、認知症高齢者など、成年後見制度の適用が必要とされ、助成を受けなければ制度の利用が困難な者に対し、市長が代理で申し立てを行う場合の経費である。

答弁(市長)

(4) 定住して安定した生活をしてもらうことは非常に大事で、機会があつたら考えたい。